

心臓財団 季報



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-10 松楠ビル6階

■Tel: 03-5209-0810 ■Fax: 03-5209-0830 ■e-mail: info@jhf.or.jp ■URL: https://www.jhf.or.jp

No.260 SEP.10, 2025

健康ハートの日2025

8月10日(810:ハート)は健康ハートの日。日本心臓財団が1985年に提唱して以来、この日を中心に心臓病予防啓発活動をしてきました。本年は、ちょうど40周年にあたり、7月9日に開催された健康ハート・シンポジウム2025では、「循環器予防の40年～過去・現在・未来」と題して、健康ハートの日や循環器病予防の現在・未来について講演が行われました。

また、今年は大阪・関西万博の開催があり、会場内にて小中学生を対象とした医療体験イベントを実施しました。そのほか、全国各地の自治体や名跡が赤く点灯される健康ハート・ライトアップ、全国各地にて救命講習を実施する「全国でPUSH!」、Jリーグ各チームとコラボスタジアムにて啓発ブースを展示した「Jリーグ×健康ハートの日2025」、全国の薬局・薬店での「#血圧測ろうぜ!」企画は、1万4000店舗以上にご参加いただき、さらにJAPANDラッグストアショーへも参加させていただきました。そのほか、たくさんの企画が実施されましたので、詳細は「健康ハートの日」特設サイトをご覧ください。

こうしたイベントを手弁当にて実施していただいた多くの医療関係者の方々、ご後援、ご協力いただきました団体、ご協賛いただきました企業に厚く御礼申し上げます。



主 催: 日本心臓財団 日本循環器協会 日本循環器学会 日本AED財団

後 援: 日本循環器看護学会 日本循環器病予防学会

協 賛: アボットメディカルジャパン合同会社 AMI株式会社 小野薬品工業株式会社
オムロン ヘルスケア株式会社 カリフォルニアくるみ協会 第一三共株式会社 株式会社ツムラ
ニプロ株式会社 ノバルティス ファーマ株式会社 バイエル薬品株式会社 株式会社リモハブ

健康ハートの日 40年の歩み

健康ハート・シンポジウム2025

「循環器予防の40年～過去・現在・未来」より

2025年7月9日(水)、日本心臓財団及び日本AED財団名誉総裁の高円宮妃殿下ご臨席のもと健康ハート・シンポジウム2025「循環器予防の40年～過去・現在・未来」が都内にて開催され、オンラインでの中継も行われました。

今年は、日本心臓財団が1985年に8月10日を「健康ハートの日」として心臓病予防啓発を始めてからちょうど40年となり、シンポジウムでは循環器病予防の40年を振り返り、そして現在、未来の循環器予防について、講演及びディスカッションを行いました。

今回、その講演の中から、和泉徹先生によるご講演「健康ハートの日 40年の歩み」を紹介いたします。

講演 健康ハートの日 40年の歩み

循環器病の発症予防、再発予防、重症化予防、そしてフレイル予防

恒仁会 新潟南病院 統括顧問 日本心臓財団評議員 和泉 徹先生

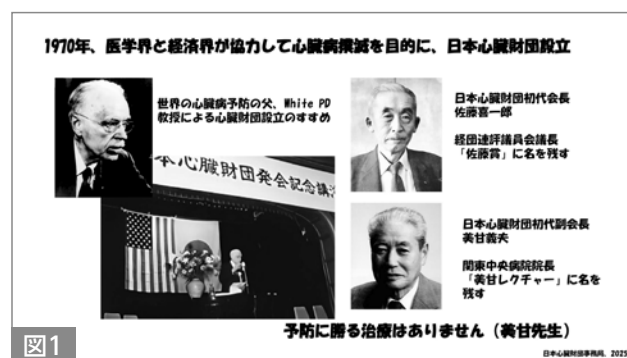
日本心臓財団の設立と「健康ハートの日」の制定そして活性化

循環器病予防の全体像は川の流れにたとえられます。上流は清らかですが、悪い生活習慣が引き金となって多くの循環器病が下流に発症してきます。一度発症すると、時に再発・重症化したりします。したがって、循環器病の臨床においては、早期(上流)からの発症予防が強調されています。

ここで日本心臓財団による心臓病の予防啓発活動「健康ハートの日」の40年の歩みを振り返ってみたいと思います。

日本心臓財団による「健康ハートの日」制定には、先人の熱い思いが込められています。日本心臓財団は、1970年、わが国の心臓病撲滅を目的として医学界と経済界が協力して設立されました。設立には世界の心臓病予防の父 White PD教授による勧めが大きく影響しています。初代会長には経団連評議員会議長(当時)の佐藤喜一郎氏が就任しました。現在も、日本循環器学会において「日本心臓財団佐藤賞」として名を残し、その栄誉が長く讃えられています。初代副会長には関東中央病院院長(当時)の美甘義夫先生が就任しました。

こちらも日本循環器学会学術集会において「美甘レクチャー」としてその名が残されています。美甘先生が残した「予防に勝る治療はありません」という言葉は名言と思われます(図1)。



日本心臓財団は設立15周年を迎えた1985年、「高齢化が進むにつれて増える心臓病に対応するには、国民の予防意識の向上が不可欠である」と考え、8月10日が810(はーと)と読み取れることから、覚えやすいように語呂合わせでこの日を「健康ハートの日」と決めました。日本心臓財団二代目副会長(当時)・元東京大学教授の上田英雄先生、日本心臓財団理事(当時)・日本循環器管理研究協議会(現:日本循環器病予防学会)初代理事長の小林太刀夫先生、日本心臓財団理事(当時)・日本ライフ・プランニング・センター初代理事長の日野原

重明先生らの発議によるもので、これまでの病気という後ろ向きのイメージから“健康ハート”と命名することにより、明るく陽性なイメージでこの8月10日を中心に新しい国民運動を展開しようと始めたものです。小林太刀夫先生は1985年8月10日に日比谷公園にて「健康ハートの日」を宣言し、日野原重明先生は「血圧を測ろう」と呼びかけ、東京駅八重洲地下街で血圧測定が行われました。上田英雄先生は「歩け!歩け!」と唱え、日比谷公園から北の丸公園の間を往復されました(図2, 3, 4)。1986年には江ノ島、1988年には新宿駅前、1990年には大阪・国際花と緑の博覧会会場でのハート・ウォッチング・フェスティバルと、全国に運動が広がって行きました。



この「健康ハートの日」を飛躍的に活性化させ、内容を充実させたのが、杉本恒明先生(日本心臓財団顧問・関東中央病院名誉院長)です。日本心臓財団が設立30周年を迎えた2000年、東京国際フォーラムで開催され

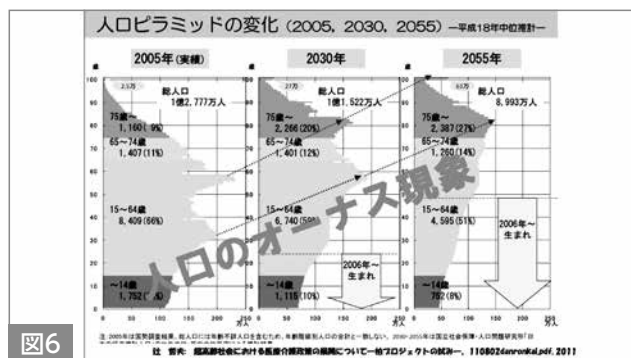
た「健康ハートの日:心臓いきいきハートフェア」では、自らが体力測定(運動負荷試験)に挑戦されています(図5)。またAED(自動体外式除細動器)が一般市民に解禁された2004年には、早くもAEDと心肺蘇生の普及活動を健康ハートの日に包含させました。



21世紀に入って迎えた 日本の循環器病医療の構造的変容

21世紀になると、生活習慣の悪化によって次々とドミノ倒しのように循環器病が発症してくることが問題になり始めました(メタボリックドミノ)。この負の連鎖を予防しようと、特定健診が大々的に始まったのです。さらに2005年になると予想よりもずっと早く、わが国に人口減少と少子化が到来していることがわかり衝撃が走りました。その後、現在に到るまで年間80万人の人口減少が進行しています。すなわち、世界のトップを切って「人口のオーナス現象」(オーナス=労働人口の減少が経済成長の負担となること)が進行中です¹⁾(図6)。そのフロントで循環器病予防が機能しているわけです。そうした中、東京駅八重洲地下街や丸の内オアゾ、新宿高島屋などで、「健康ハートの日」には、日本を代表する循環器病診療のベテランの先生方によって健康相談などの活発な活動が行われてきました(図7)。市民との直接の触れ合いの場であるこうした活動に、全国各地の循環器病院も呼応するようにもなりました。

2009年、「健康ハートの日」啓発活動は現在の日本心臓財団理事長 矢崎義雄先生に引き継がれました。その頃、わが国の人口は指数関数的に高齢化してきました。2020年頃からは一息ついたようでもあります、80歳(傘寿)以上の人口は増え続けており、今やわが国の人口の10人に1人が80歳以上となっています²⁾。



2011年3月には東日本大震災が発生しました。日本心臓財団は日本循環器学会と協同し、AED企業の協力のもと被災地の仮設避難所にAEDの無料貸出しを行いました。そしてこの年より、健康ハートの日周辺に全国各地にてAEDと胸骨圧迫の講習を実施する「全国でPUSH!」運動を大阪ライフサポート協会とともに始めます。

この頃からフレイル(虚弱)問題が顕在化してきました。このフレイルというコンセプトは80歳以上の特徴をよく表しており、疾病による老化現象と生理的な加齢現象の足し算と掛け算で進行していきます。これに加えて循環器病の最下流に位置する心不全の患者像をみると、80歳以上が全国的には50%以上を占め³⁾、地方では75%以上を占めて高齢者(平均年齢84.7歳)心不全がパンデミック状態になってきています⁴⁾。

こうした医療・介護・福祉の正面課題に適切に対応すべく法的整備が進められ循環器病対策基本法が登場しました。その中では循環器病予防が大きく取り上げられています。これも健康ハートの日の啓発活動の長年にわたる成果の一つといえるでしょう。

循環器病予防ではオール日本での取り組みが必須です。2017年からは日本循環器学会が本格的に参入し、今や「健康ハートの日」は日本心臓財団、日本循環器学

会、日本循環器協会、日本AED財団の四団体の共同開催という形になっています。さらに日本循環器病予防学会と日本循環器看護学会の二団体の後援を受けています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックの非常事態を経て、「健康ハートの日」には各地で代表的建物などが健康ハートを象徴する赤色にライトアップされるようになりました。Jリーグ(日本プロサッカーリーグ)もこの活動に賛同し、スタジアムでの啓発ブースの設置やオーロラビジョンでの啓発動画を流すチームも増えてきました(図8)。



最後に循環器病予防医学の大家である上島弘嗣先生(滋賀医科大学名誉教授)のお言葉を紹介して終わりたいと思います。先生は心臓手術とカテーテル心筋焼灼術という大きな負担を経験されましたが、先頃、先生のガイドで京都東山を半日かけて散策する機会を得ました。その折り、「健康ハートとはなんでありましょうか」との質問に対する先生のお答えはきわめてシンプルなものでありました。「健康ハートとは、(心臓が) 静かなること」。素晴らしいお答えです。「元気とはなんでしょう」とのさらなる質問には「元気とは、スタスタ歩くこと」。お見事なお答えで、感じ入ってしまった次第です。

参考文献

- 1) 辻哲夫 超高齢社会における医療介護政策の展開について - 柏プロジェクトの試み-人口ピラミッドの変化(2005, 2030, 2055) 平成18年中位推計
- 2) 統計トピックスNo.142 統計からみた我が国の高齢者-「敬老の日」にちなんで-総務省統計局(令和6年9月15日)
- 3) Kaneko H, et al.: Circ Rep 2020; 2: 393-399
- 4) Obata H, et al.: J Cardiac Fail 2021; 27: 1203-1213

健康ハートの日2025

その他の主なイベント

■■ SUWAN QUEST ～いのちを救え。あなたの大事な人をレスキューゲーム～ in 大阪・関西万博 ■■

8月3日(日)、大阪・関西万博FLEステージにて、小学生向け医療体験イベントを実施しました。禁煙推進キャラクター、すわん君のパパが倒れたという設定で、胸骨圧迫やAED体験、聴診・心電図等検査体験、カテーテル体験などが行われました。



■ ■ 健康ハート・ライトアップ Photo contest 2025 ■ ■

全国40都道府県の名所や県庁等でライトアップが行われ、160件を超える写真からフォトコンテストも実施しました。



■ ■ ■ ■ ■ # 血圧測ろうぜ！ ■ ■ ■ ■ ■

全国1万4000店舗超の薬局・ドラッグストアと協力し、地域の薬剤師から血圧管理の重要性を啓発するキャンペーンを実施しました。

[illegible]

大阪会場、奈良会場そして全国をオンラインでつなぎ、楽しく救命講習が学べるイベント。来場者にはPUSHオリジナル自由研究資料がプレゼントされました。



■■■■■ Jリーグ×健康ハートの日2025「ハートはともだち～大切にしよう、自分のハート～」 ■■■■■

リーグチームの協力により、全国17スタジアムで健康ハートの日特別企ブースを出展し、啓発活動を行いました。



そのほか、集まれ未来のドクター、循環器病患者みんなのWA、患者インタビュー、SUSURU TV.×健康ハートの日2025、日本ハムファイターズ×健康ハートの日2025などが実施されました。

令和7年度(2025年度)日本心臓財団研究奨励事業募集要項

研究奨励金および応募資格：

第51回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる
40歳未満の研究者(1985年4月1日以降に生まれた者)。

なお、応募はひとり1件に限ります。過去に研究奨励金を受けた
者は、研究奨励には再度応募できません。

応募方法：当財団ホームページをご覧ください、専用フォームより
ご応募ください。

選考方法および発表：

当財団選考委員会において選考し、
理事会で決定します。

2026年2月中に選考結果を発表
する予定です。

助成対象者の公表：

助成対象者の氏名、年齢、所属、
研究課題を当財団機関紙、ホーム
ページ等に公表します。

応募期間：2025年9月1日～10月15日

現在、各都道府県には、脳卒中・心臓病等総合支援センター
が配置され、脳卒中や心臓病の患者さんへの相談窓口を設置
して、医療相談や地域の情報を提供することで、患者さんを
サポートする役割を担っています。

日本心臓財団ホームページ
脳卒中・心臓病等総合支援センター一覧

<https://www.jhf.or.jp/heart-stroke-support-japan/>



各都道府県の脳卒中・心臓病等の相談窓口のご紹介

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)		株式会社SUMCO	様	日本心臓ペースメーカー友の会	様
株式会社アクセル	様	三栄メディスン株式会社	様	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
旭化成ソーレメディカル株式会社	様	株式会社ジェイエムエス	様	日本メトロニックス株式会社	様
アストラゼネカ株式会社	様	住友金属鉱山株式会社	様	日本ライフライン株式会社	様
アボットメディカルジャパン株式会社	様	株式会社世界貿易センタービルディング	様	バイエル薬品株式会社	様
アムジェン株式会社	様	ゼリア新薬工業株式会社	様	ファイザー株式会社	様
株式会社 池野商店	様	第一三共株式会社	様	株式会社5core	様
有限会社池野ビルメンテナンス	様	大正製薬株式会社	様	フクダ電子株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	様	ダイナメディックジャパン株式会社	様	ブルーミング中西株式会社	様
エモーションリンク合同会社	様	大日本住友製薬株式会社	様	古河機械金属株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	様	中外製薬株式会社	様	ベストセクション株式会社	様
小野薬品工業株式会社	様	テルモ株式会社	様	ボストン・サイエンティフィック	様
オムロンヘルスケア株式会社	様	株式会社トイント	様	ジャパン株式会社	様
株式会社オルリクス製薬	様	東京海上日動火災保険株式会社	様	株式会社マイベスト	様
カメラ買取市場	様	東邦亜鉛株式会社	様	三井金属鉱業株式会社	様
カリフォルニアくるみ協会	様	株式会社東横イン	様	株式会社三井住友銀行	様
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	様	トーアエイヨー株式会社	様	三菱電線工業株式会社	様
救心製薬株式会社	様	株式会社ナック	様	三菱マテリアル株式会社	様
株式会社協和企画	様	NISSHA株式会社	様	明治安田生命保険相互会社	様
キリンホールディングス株式会社	様	株式会社日清製粉グループ本社	様	持田製薬株式会社	様
クリックアンドペイ合同会社	様	日鉄鉱業株式会社	様	株式会社ヤガミ	様
株式会社グロースライフ	様	日本アピオメッド株式会社	様	株式会社RUNWAYS	様
ケンソメディコ株式会社	様	日本軽金属株式会社	様	合同会社VACCINE中央協会	様
興和株式会社	様	日本光電工業株式会社	様		

教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局)賛助会員

札幌医科大学循環器内科
北海道大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科
秋田大学循環器内科
東北医科薬科大学循環器内科
東北大学循環器内科
山形大学第一内科
筑波大学循環器内科
獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科
群馬大学循環器内科
千葉大学循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科
獨協医科大学埼玉医療センター
杏林大学循環器内科
慶應義塾大学循環器内科
順天堂大学循環器内科
帝京大学循環器内科
東海大学医学部附属八王子病院
東京科学大学循環器内科
東京医科大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科
東京女子医科大学循環器内科

東京大学循環器内科
東邦大学循環器内科
東邦大学医療センター大橋病院循環器内科
日本医科大学循環器内科
日本医科大学多摩永山病院循環器内科
日本大学循環器内科
北里大学循環器内科
昭和医科大学藤が丘病院循環器内科
聖マリアンナ医科大学循環器内科
東海大学循環器内科
横浜市立大学循環器内科
信州大学循環器内科
新潟大学循環器内科
金沢医科大学循環器内科
金沢大学循環器内科
金沢大学心臓血管外科
富山大学第二内科
福井大学循環器内科学
順天堂大学医学部附属静岡病院
浜松医科大学循環器内科
愛知医科大学循環器内科
名古屋市立大学循環器内科
名古屋大学循環器内科
藤田医科大学循環器内科
滋賀医科大学呼吸循環器内科
三重大学循環器内科
京都大学循環器内科

京都府立医科大学循環器・腎臓内科
大阪医科薬科大学内科学Ⅲ
大阪大学循環器内科
大阪大学臨床遺伝子治療学
関西医科大学循環器内科
近畿大学奈良病院循環器内科
奈良県立医科大学循環器内科
神戸大学循環器内科
神戸大学心臓血管外科
鳥取大学循環器内科
広島大学循環器内科
山口大学器官病態内科学
香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
愛媛大学循環器内科
徳島大学循環器内科
高知大学老年病・循環器内科
九州大学循環器内科
久留米大学心臓血管内科
福岡大学心臓血管内科
佐賀大学循環器内科
長崎大学循環器内科
大分大学循環器内科
熊本大学循環器内科
宮崎大学循環器内科
鹿児島大学心臓血管内科

病院(医院)賛助会員

旭川リハビリテーション病院
木原循環器科内科医院
札幌中央病院
札幌心臓血管クリニック
札幌東徳洲会病院
札幌孝仁会記念病院
北海道社会事業協会帯広病院
本荘第一病院
仙台厚生病院
仙台循環器病センター
三友堂病院
大原綜合病院
福島赤十字病院
高安内科循環器科
新小山市民病院
慶友会慶友整形外科病院
博仁会第一病院
田貫会高瀬記念病院
鶴谷病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院
蜂谷病院
東葛病院
かわぐち心臓呼吸器病院
関越病院
北里大学メディカルセンター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
さいたま市民医療センター
深谷赤十字病院
板橋中央総合病院
江戸川病院
関東中央病院
榊原記念病院
聖路加国際病院心臓血管センター

虎の門病院
東大和病院
武蔵野赤十字病院
小田原循環器病院
横浜栄共済病院
横浜南共済病院
済生会横浜市南部病院
抱生会丸の内病院
金沢医療センター
済生会富山病院
富山赤十字病院
聖隷浜松病院
トヨタ記念病院
澄心会名古屋ハートセンター
藤田医科大学ばんだね病院
岐阜県総合医療センター
澄心会岐阜ハートセンター
慈朋会澤田病院
近江八幡市立総合医療センター
伊勢赤十字病院
京都桂病院
ゆやまクリニック
小松病院
みどり病院
穀峰会吉田病院
神戸市立医療センター中央市民病院
高清水高井病院
健生会土庫病院
公立那賀病院
新宮市立医療センター
誠佑記念病院
倉敷中央病院
しげい病院

JR広島病院
県立広島病院
東広島医療センター
済生会広島病院
福山循環器病院
さくらぎ循環器・内科クリニック
美祢市立病院
済生会今治病院
今治第一病院
喜多医師会病院
市立宇和島病院
近森会近森病院
新小文字病院
杉循環器内科病院
福岡記念病院
福岡新水巻病院
福岡青洲会病院
済生会福岡総合病院
ヨコクラ病院
大分岡病院
済生会熊本病院
都城市郡医師会病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島生協病院
翔南会翔南病院
かりゆし会ハートライフ病院

医師会賛助会員

日本医師会
東京都医師会
上尾市医師会
葛飾区医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会

個人賛助会員としてご支援いただいている方

賛助会員として本年度にご支援いただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。

(2025年5月～7月) (五十音順)

明石 嘉浩 様	上保 紀夫 様	窪田 博 様	杉本 恒明 様	野村 雅則 様	宮垣 武司 様
新 博次 様	大内 尉義 様	栗原 敏 様	千田 彰一 様	橋本 敬太郎 様	宮崎 恭一 様
足達 寿 様	大和田 憲司 様	小池 城司 様	高見 和徳 様	羽野 卓三 様	村山 正博 様
阿部 倫明 様	岡崎 修 様	古賀 義則 様	高村 雅之 様	馬場 俊六 様	望月 茂 様
池田 隆徳 様	岡田 幾太郎 様	小須賀 健一 様	高柳 寛 様	林 和広 様	百瀬 満 様
和泉 徹 様	荻野 和郎 様	小谷 英太郎 様	高山 太助 様	早野 元信 様	諸井 雅男 様
磯部 光章 様	奥野 修 様	児玉 安司 様	高山 守正 様	東 登志夫 様	矢崎 義雄 様
井對 将人 様	小野 高史 様	犀川 哲典 様	武田 信彬 様	久留 一郎 様	安井 健二 様
出野 将彦 様	小野 稔 様	坂田 泰史 様	田澤 誠 様	平岡 昌和 様	山口 巖 様
伊藤 隆之 様	鍵山 俊太郎 様	笹野 哲郎 様	堤 健 様	平田 恭信 様	山下 武志 様
井上 博 様	笠原 真悟 様	佐田 政隆 様	須藤 英仁 様	日和田 邦男 様	山村 憲 様
井上 祐二 様	加藤 正明 様	佐藤 和徳 様	鄭 忠和 様	福田 孝太郎 様	弓削 浩 様
猪又 孝元 様	加納 達二 様	塩島 一朗 様	土肥 薫 様	堀 正二 様	吉松 秀明 様
入江 ふじこ 様	楠岡 英雄 様	庄田 隆 様	友池 仁暢 様	松岡 博昭 様	他 匿名4名
上島 弘嗣 様	楠川 禮造 様	白石 裕一 様	外山 淳治 様	松本 万夫 様	
浦 信行 様	久保田 徹 様	杉 薫 様	長澤 一成 様	三田村 秀雄 様	

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。感謝の意を表してご芳名を掲載させていただきます。

(2025年5月～7月) (五十音順)

小川 裕子 様	小栗 華奈 様	川西 秀忠 様	小谷 理恵 様	芝田 正広 様	清水 彰子 様
清水 敬子 様	関 博明 様	竹下 淳也 様	中田 三郎 様	藤嶋 加奈子 様	船山 高裕 様
モリ・イングリッシュ・アカデミー株式会社 様			山本 和子 様	山本 聡 様	他 匿名5名

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店
普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店
普通 4025878

■ゆうちょ銀行
一般振替口座 00140-3-173597
(ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキョウ) 店
当座 0173597)

口座名: 公益財団法人 日本心臓財団
ザイ) ニホンシンソウザイダン